

# 法令欄

## 京都市道路工事費特別負擔金徵收規程

**第一條** 道路新設擴築又ハ鋪裝工事（都市計畫事業トシテ執行スルモノヲ除ク）ニ因リ著シク利益ヲ受クル者若ハ特ニ

道路ヲ損傷スル原因トナルヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シ其ノ工

事費ノ一部ヲ負擔セシムル場合ニ於テハ本規程ノ定ムル所

ニ依ル

前項ニ依リ費用ヲ負擔セシムヘキ工事並其ノ工事費豫算額

ハ市長之ヲ告示ス

**第二條** 前條ノ受益者負擔金ハ道路新設及擴築工事ニ在リテ

ハ道路ノ兩側ニ於テ各道路幅員ノ五倍以內ノ鋪裝工事ニ在

リテハ各與行二十間以內ノ地域内ニ於ケル有租地ノ所有者

ニ之ヲ課ス但シ質權ノ目的タル土地ニ付テハ質權者、工事

着手ノ日ヨリ起算シ十年ヨリ長キ期間ノ定アル地上權、永

小作權又ハ賃借權ノ目的タル土地ニ付テハ地上權者、永小

作人又ハ賃借人ヲ費用負擔者トス

同一ノ土地ニ付前項但書ノ權利一箇以上ニストキハ其ノ

最後ニ設定セラレタル權利者ヲ以テ費用負擔者トス

土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラズ別ニ其ノ區劃ヲ定ム

**第三條** 前條第一項又ハ第三項ノ區劃内ニ在ル無租地ニシテ

公用又ハ公共ノ用ニ供セサルモノニ付テハ同條第一項及第

三項ノ規定ヲ準用ス

**第四條** 道路ノ一側ニ於ケル受益者ノ負擔金額ハ當該工事費

ノ四分ノ一以內ニ於テ市長之ヲ定ム

**第五條** 各受益者ニ對スル負擔金ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

一 道路新設擴築工事ノ場合ニ在リテハ第二條ノ地域ヲ利

益ヲ受クル厚薄ニ依リ路線ニ並行シテ一個又ハ數個ノ地

帶ニ分チ各地帶ニ前條ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分シ

路線ニ接スル地帶内ニ在リテハ其ノ地帶ニ配分セラレタ

ル負擔額ノ半額ヲ土地ノ其ノ路線ニ接スル部分ノ長サニ

比例シ他ノ半額ヲ面積ニ比例シ其ノ他ノ地帶ニ在リテハ

各地帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ土地ノ面積ニ比例シテ

各受益者ニ配分ス

二 道路鋪裝工事ノ場合ニ在リテハ前條ノ負擔額ノ半額ヲ

土地ノ其ノ道路ニ接スル部分ノ長サニ比例シ他ノ半額ヲ

土地ノ面積ニ比例シテ各受益者ニ配分ス

三 前二號ノ地上ニ建設スル建設物ノ高サカ市街地建築物  
法ノ制限ヲ超ユルモノニ對シテハ其ノ超過部分ノ利用ニ  
應シ面積ニ換算シテ土地ノ面積ニ加算ス

第六條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他道路ノ工事

ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ前數條ノ規定ニ拘  
ラス當該工事費ノ三分ノ一以內ヲ負擔セシム

第七條 第四條及前條ニ依ル負擔金額ハ當該工事費ノ十分

ノ六ヲ超ユルコトヲ得ス

第八條 倉庫業者、運送業者、自動車業者其ノ他特ニ道路ヲ

損傷スル原因トナルベキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ市長ニ於  
テ其ノ事業ニ付必要ナリト認ムル區域內ニ於ケル修繕費ノ  
三分ノ二以內ヲ負擔セシム

第九條 負擔金ハ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ前條ノ負擔ニ

付テハ毎年四月一日現在ノ該當者ヨリ其ノ他ノ負擔ニ付テ

ハ工事着手ノ日ノ現在ニ於ケル受益者ヨリ之ヲ徴收ス但シ  
工事費豫算額ト精算額ニ差異ヲ生シタル場合ハ其ノ精算額

ニ依リ負擔金ヲ追徴シ又ハ還付ス  
前項負擔金徵收期ハ市長之ヲ定ム 但シ五年ヨリ長カラサ

ル期間ニ於テ分納ヲ許スコトアルヘシ

第十條 同一ノ土地ニシテ第二條ノ規定ニ依リ重複シテ工事  
費ヲ負擔スヘキ關係ニ該當スル土地ニ付テハ負擔ノ一部ヲ  
免除スルコトアルヘシ

第十一條 道路工事ノ費用ヲ補足スル爲土地物件、勞力又

ハ金錢ヲ寄附シタル者ニ對シテハ其ノ寄附額ノ範圍內ニ於  
テ本規程ニ依ル負擔ヲ減免スルコトアルヘシ 市長カ適當

ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ之ヲ寄附シタル者ニ對  
シテ亦同シ

前項ノ土地物件並勞力ニ對スル評價ハ市長ノ認定スル所ニ  
依ル

第十二條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ市長之

ヲ定ム

### 附 則

本規程ハ告示ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行ノ際執行中ニ係ル工事ニ付テハ本規程施行ノ日ヲ  
以テ其ノ工事着手ノ日ト看做ス